

2016年度JQAA総会 資料

於 日本生産性本部

2016年4月20日（水）

議事次第

1. 開会の辞
2. 主催者挨拶
3. 会員数確認
4. 議長選出

<議案>

1号議案：2015年度活動および収支報告の承認

- ① 2015年度各部活動
- ② 2015年度収支報告

2号議案：定款の改定

3号議案：2016年度活動計画の承認

- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2016年度収支計画

4号議案：役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員代表挨拶

1号議案

2015年度活動及び収支報告の承認

- ① 2015年度各部活動成果
- ② 2015年度収支報告

改革支援部 2015年度活動報告

中小企業現場の改革支援、地方・地協組織の活性化支援を実践していくための準備年度と位置付け活動した。

■ メンバー

- セルフアセッサー認定資格を有し、企業で経営改革を推進したメンバーを口コミで勧誘した結果、3月末現在、実績を持つ14名がメンバーとなった。

■ パンフレット及び名刺作成

- 2015年10月に100部パンフレットを試作印刷し、一部富山県経営品質協議会に配布した。
- 名刺については、パンフレットとデザインを統一して、各自作成した。

■ 部内活動

- 1月29日（金）、2月28日（日）に会合を開き、各メンバーが自らの実績や強みをプレゼンテーションし、この情報を基に、今後の進め方を検討した。

実践研究部 2015年度活動報告

■ 実践研究活動 11期

活動期間 : 2015年07月～2016年3月(月度活動を8回開催)

参加者 : 8名応募者があり、7名が参加した。

運営メンバー : 理事3名、運営委員3名が参加した。

内容 : 各回のプレゼン担当者を決め、全員でプレゼンされた各社の課題の解決策を検討した。

■ 研究報告会

上記の「実践研究活動」を発展させ、「経営革新、創めるを始める」のコンセプトで「新ビジネス起草ワークショップ」を開催した。

開催日 : 2016年1月28日

参加者 : 実践参加組織から28名参加した。

■ 講座

1) 社員重視講座

➤ 紹介セミナー

東京（夜2.5時間 4回）：参加者 21名

町田市入門セミナー（夕方2時間）：参加者 66名

➤ 基礎コース

東京（夜6日間と午後3日間の2コース）：参加者 9名

富山県経営品質協議会（午後6日間コース）：参加者 36名

➤ アンケート評価（富山基礎コース）

「良い～まあ良い」100%、「有効～まあ有効」98%

2) 顧客本位講座

➤ 紹介セミナー

東京（夜2.5時間 3回）：参加者 15名

➤ アンケート評価

「良い～まあ良い」100%、「有効～まあ有効」100%

■ 講座

3) 第4期AAP (アドバンスド・アセスメント・プログラム)

講座名：イノベーション・サイクル指導者養成講座

期 間：2015年09月～2016年3月(6回)

講 師：MPC代表 岡本 正耿 JQAA顧問

参加者：18名

講座・講演部 2015年度活動報告

■ 講演

	開催日	テーマ/講演者	参加数
1回	4/13	テーマ：経営品質への共感・共鳴をベースとした「組織風土改革の実践ポイント」大公開！ 講演者：望月 広愛氏（株MATコンサルティング 代表取締役社長）	28名
2回	7/22	テーマ：“ありたい姿”からはじめる課題の本質追求と解決 ～経営理念実現を導く問題解決手法を伝授します～ 講演者：末松 清一氏（有末松企業進化研究所 代表取締役）	23名
3回	12/10	テーマ：社会価値と企業価値の両立を目指して ～リコーにおけるCSVの取り組み～ 講演者：赤堀 久美子氏（株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室 CSRグループ シニア・スペシャリスト）	17名
4回	1/20	テーマ：「気づき合える」組織プロフィール活用法 ～みんなで作り、共有し、使う、そしてみんなで会社を変える～ 講演者：三宅 邦之氏（有ハイスピリッツ アソシエイツ 代表取締役 JQAA特命理事）	19名

アンケート評価（平均）：講演内容「良い」87%、「すぐに役立つ」63%

広報部 2015年度活動報告

■ 集客活動強化

- 認定セルフアセッサーOBを含む方々に、JQAA通信を39回配信し、JQAA活動の情報発信を行う共に、講座、講演などの集客支援を行った。なお、同時に発信しているメルマガ登録者は87名（前年比38増）となった。
- 様々な活動の機会を活用して、21号以前の号を無料配布なども行いながら、アセッサージャーナルの販促活動に努めた。新刊23号については、2月の顧客価値経営フォーラムで販売を開始した。

■ Webサイトの充実

- 現行Webのレベルアップは最小限に抑えながら、ホームページビルダーおよびWordPressの活用を視野に、新しいWebへの転換を検討した。

■ JQAA運営体制強化

- 3月末現在で、運営委員は65名（前年比10名増）となった。

■ 正確且つ透明性のある会計情報の提供

- 各部の予算/実績が見えるフォームを作成し、4半期毎に理事会で進捗状況を確認・共有した。

■ 経営品質協議会との連携強化

- 経営品質協議会の個人会員向けサービス向上の施策に協力し、JQAAが主催する講演会においては、個人会員は無料とした。

■ JQAA法人化の検討

- NPO法人並びに一般社団法人のメリットデメリットを調査し、法人化する場合は「一般社団法人」とすることを決定した。尚、法人化の時期については検討を継続する。
- JQAAの事務所（バーチャルオフィス：東京都渋谷区桜丘町23番17号シティコート桜丘408）を開設し、各部の活動並びに契約等がスムーズに進められるように準備を行った。

2016年3月1日発行 通算23号

実践！経営革新

経営品質
アセッサージャーナル

Assessors Journal

アセッサーと経営革新に取り組む人のための情報誌

顧客価値追求による 企業革新のすべて

第23号

地方からもこんな
ユニークな企業出現!!



中小企業の現場能力構築と地域インストラクタースクール 東京大学大学院 教授 藤本隆宏
イノベーション・マネジメント～アセスメントの視点～ MPC代表取締役 岡本正取

更なる経営品質向上に取り組み、地方から元気を発信し続ける 万協製薬株式会社 代表取締役社長 松浦徳男
「従業員の子ども達が働きたいと思える魅力的な会社」を目指して 株式会社九州タブチ 代表取締役社長 鶴ヶ野末央
経営品質から学んだ大切なこと ～JQA挑戦へのプロセス～ 株式会社タカヤマ 代表取締役 齊藤吉信
社内の和こそ顧客の信頼と創意をもたらす ～知的資産経営を目指す～ 武州工業株式会社 代表取締役 林 英夫

経営品質アセッサーフォーラム

■ アセッサージャーナル23号

- 「顧客価値追求による企業革新のすべて」と題し、経営品質向上活動により企業革新を進めて、素晴らしい成果を上げているユニークな企業を採り上げた。
- 東京大学大学院 藤本教授、MPC 岡本JQAA顧問にも依頼し、特別寄稿を掲載した。

■ 販売状況について

- 21号以前の号は、対面販売時に販促用として活用し、22号、23号の購入者に無料配布した。
- 23号は顧客価値経営フォーラムでの販売を皮切りに、3月末までに160冊を販売・配布した。

2015年度収支報告

収入の部	円
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	2,329,904
②広報・出版活動	236,090
③その他雑収入	82,217
合計	2,648,211
2. 支出の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	1,529,151
②広報・出版活動	350,808
③その他雑支出	413,205
合計	2,293,164
3. 前期からの繰越金	1,113,319
4. 残高（繰越金）	1,468,366

<残余資産>

合計 158,344円

内訳) PC:1円、JQAジャーナル在庫 158,343円(447冊分)

監査報告書

経営品質アセッサーフォーラム

理事長 校條 亮治 様

2016年4月14日

監 事

小楠 高弘

加藤 修明



当監事は、経営品質アセッサーフォーラムの規約に基づき、
2015年度(期間:2015年4月1日から2016年3月31日)における、
同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は公正と
認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、
その旨、監査報告いたします。

以 上

2号議案

定款の改定

体制強化のため、下記の内容に改正する。

現行	改正
<p>(役員の配置) 第23条 第4項 4 理事長以外の理事の内、<u>3名を副理事長とする。</u></p>	<p>4 理事長以外の理事の内、<u>副理事長として若干名を置くことができる。</u></p>
<p>(役員の任期) 第28条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結までとする。<u>ただし、再任を妨げないが、連続2期を超えてはならない。</u></p>	<p>理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結までとする。<u>再任の場合は、原則として連続2期までとする。</u></p>

2016年度活動計画の承認

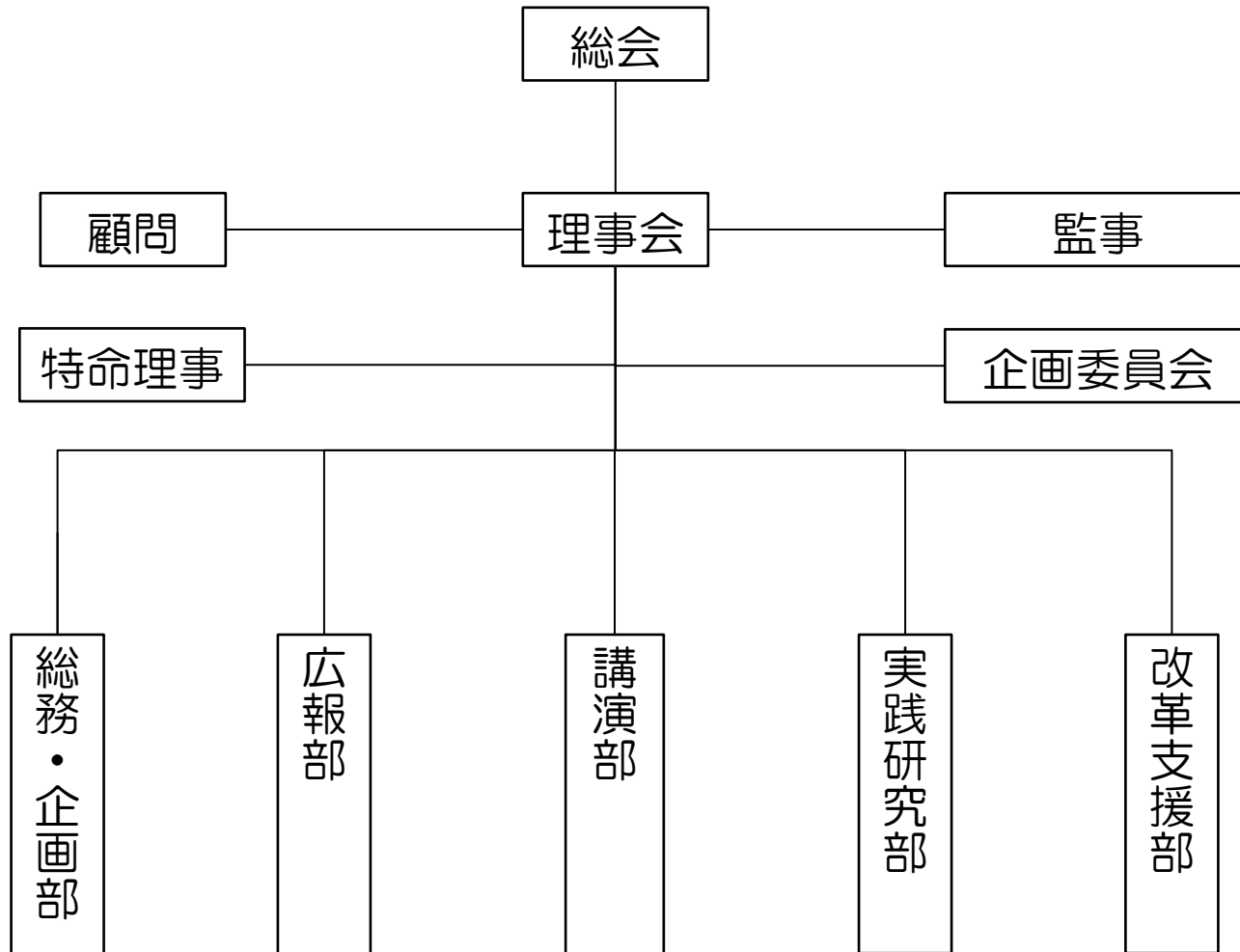
- ① 活動基本方針
- ② 組織体制
- ③ 各部活動計画
- ④ 2016年度収支計画

2016年度活動基本方針

ボランティア精神を大切にしながら、前期同様体制強化を図りながら、活動の活性化に取り組みます。

- ①組織力強化
- ②関係団体との連携強化
- ③人材育成

2016年度組織体制（案）



2016年度の改正ポイント

- 改革支援部：従来の改革支援機能に、講座機能及び出版機能も統合した。
- 講演部：講演機能に特化したため、講座・講演部から名称変更した。

各組織概要（1）

名称	構成員	内容
総会	理事・運営委員	①運営委員の除名 ②理事及び監事の選任または解任 ③事業報告及び収支計算書並びに正味財産増減書の承認 ④定款の変更 ⑤会の解散及び残余財産の処分 ⑥その他、理事会において必要と認められた事項 ⑦その他、法令に準ずる事項
理事会	理事	①JQAAの業務執行の決定 ②理事の職務執行の監督 ③理事長及び副理事長の選定及び解職 ④特命理事の任命と解任 ⑤運営委員の承認
監事		①理事の職務執行の監査 ②監査報告書の作成
企画委員会	理事長、副理事長、部長	理事会の諮問機関 JQAA運営に関する企画立案、JQACからの要請を含むセミナー・講座コンテンツの企画立案、各部横断課題等の協議
顧問		理事会の求めによる助言
特命理事	運営委員	特命事項の活動（地域における活動支援等）

各組織概要（2）

名称	構成員	内容
改革支援部	理事、運営委員	①中小企業の改革支援 ②セミナー・講座の開発・開催 ③地方・地協組織の活性支援④アセッサージャーナル24号の企画・作成
実践研究部	理事、運営委員	①少人数による経営革新の実例研究会の開催・運営 ②実践事例を基にした学習セミナーの企画・開催
講演部	理事、運営委員	経営革新に役立つJQAA講演の企画・開催
広報部	理事、運営委員	①JQAA広報に資する情報発信 ②各部会の開催イベントへの集客支援 ③運営委員拡大のための活動 ④顧客ならびに運営委員の情報管理
総務・企画部	理事、運営委員	①会計管理 ②JQACとの連携促進 ③理事長指示に基づく特命事項

改革支援部 2016年度活動計画

■ 方針

- 当部メンバーによる中小企業現場の改革支援、地方・地協組織の活性化支援、並びに経営革新者の能力向上を目的に、確実な成果に結びつく活動を地道に行っていきます。
- アセッサージャーナルは、経営改革の機関誌的位置づけからの脱却を図り、現場の改革実践者の基本資料になることを目指します。

■ 計画概要

- 各メンバーがコミットした自らの強みを基盤に、チーム活動に資する具体的な戦略と仕組みを構築・整備し、中小企業現場の改革支援活動を実践開始します。
- 社員重視講座やAAP（アドバンスド・アセスメント・プログラム）等の継続実施に取り組むと共に、関東近県を主体に各地協と連携した活動を推進します。
- 引き続き地方協議会等と連携して、アセッサージャーナル24号を発刊し、2017年度顧客価値経営フォーラムで販売します。

■ 方針

経営品質の仲間とグループ対話を通じて「課題解決を支援」します。

■ 計画概要

- 11期実践報告&12期募集セミナー（2016年05月25日）
新メンバ募集のため、活動内容をお知らせする説明会を開催します。
- 12期の実践研究会（2016年6月～12月、6～8名募集）
期間は6カ月、輪番課題持ち寄りでワイガヤ討議で課題抽出します。
- 1期実践ワークショップ（2017年1月～2月、6～20名募集）
革新に向け重視する考え方を盛り込み、グループで未来課題を解いていく、KAKUSHIN塾の開催を新たな活動として模索し、開講します。

■ 方針

「経営品質の実効力を高める、少し視点を変えた理論・ノウハウ・事例を学ぶ」を統一テーマとし、机上から現場への橋渡しに努めます。

■ 計画概要

講師・題材の開拓に取り組み、対話やワークによる参加者交流、気づきの場となる講演会を開催します。

- 経営革新に取り組む企業の紹介に加えて、JQA導入のきっかけとなる講演や推進者のパネルディスカッション等のテーマも視野に入れ、年間5回の開催を目指します。
- 聴講者からの講演に関するアンケート内容を分析し、次の企画に反映させると共に、講演レポートを発信して情報の共有化を図ります。

広報部 2016年度活動計画

■ 方針

- 経営革新を目指す方々へ適確に広報し、協創（共創）の場づくり、知識・知恵・情報の提供に努めます。
- 各部の集客につながる活動を推進し、各部の活動時には、集客・販売目標達成に向け協働します。

■ 計画概要

- 各部の集客活動への支援強化
- Webリニューアルによる新WEBの構築
- JQAA運営体制の強化

2016年度活動収支計画

円

収入の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動 講演（5回/年）、実践研究会（11期他）等	1,710,000
②広報・出版活動	300,000
③その他雑収入	0
合計	2,010,000
2. 支出の部	
①講座・講演・研究会及び中小企業改革支援活動	1,056,000
②広報・出版活動号)	450,000
③その他支出	410,000
合計	1,916,000
3. 前期からの繰越金	1,468,366
4. 残高（繰越金）	1,562,366

役員を選任

- ① 役員候補受付・紹介
- ② 役員選出
- ③ 新役員挨拶

役員を選任

役員退任に伴い、役員を選任を行いたい。

退任役員 (敬称略 50音順)

	氏名
理事	中野 康範
理事	吉川 博章
監事	小楠 高弘

役員候補 (敬称略 50音順)

	氏名
理事候補	小田川 賢太郎
理事候補	伴野 亮
理事候補	中野 康範
理事候補	松野 幹孝
監事候補	吉川 博章

2016年度役員体制（案）

（敬称略 50音順）

	氏名
理事	大川 幸弘
理事	奥田 啓之
理事	小田川 賢太郎
理事	加藤 友成
理事	久保田 秀子
理事	小林 慶久
理事	渋谷 照夫
理事	末吉 進
理事	杉浦 正宣
理事	瀬川 和彦

	氏名
理事	武谷 一寿
理事	伴野 亮
理事	中野 康範
理事	中西 章生
理事	平本 洋
理事	松野 幹孝
理事	道添 順一
理事	校條 亮治
監事	加藤 修明
監事	吉川 博章

顧問	岡本 正耿（MPC代表）
----	--------------